

第 104 回全国高等学校野球選手権宮城大会 感染予防対策ガイドライン

1. 開催中止の判断

- ① 宮城県教育委員会や仙台市教育委員会から、部活動の大会自粛の指示が出た場合は中止とする。
- ② 大会前、大会中に関係者から感染者が発生した場合は、日本高野連が策定した対応表に沿って、次の通りとする。

	感染者が発生した場合の対応	濃厚接触者（家族や職場などで感染者が出た）となった場合の対応
大会役員 審判委員	感染者以外の大会役員、審判委員が感染者とどのような接触歴があったかを確認する。保健所から濃厚接触者の指定を受けた場合は保健所の指示に従う。その間は別の大会役員、審判委員が運営にあたる。	当該者は保健所の指示に従い行動する。その後、保健所の指示に従い検査を実施し陰性が確認され、体調不良や高熱などの症状が出なかった場合は復帰可（経過観察期間など十分に確認する）。
指導者 部員	当該校は保健所から陽性者以外の濃厚接触者の特定や今後の行動に関する指示を行う。当該校は感染者、濃厚接触者以外の行動を参考にチーム内の体調不良者がいないかを確認した上で大会参加を判断する。当該校の意向を踏まえ、運営委員会で決定する。	当該者は保健所の指示に従い行動する。当該校はそれ以外の指導者、部員で試合参加を検討する。当該者は保健所の指示に従い検査を実施し、その後体調不良や高熱などの症状が出なかった場合は試合参加可。

2. 来場者の健康管理

- ① 大会関係者、チーム関係者は大会開幕の2週間前からの検温歴と行動歴を記入し、感染者が発生した場合に備える。
- ② 大会参加について、保護者の同意を得てから「証明書」と「選手資格証明書」を作成し、同意の得られない生徒は大会には参加・引率しない。
- ③ 大会2週間前より、高熱が発生した選手がいた場合は、練習に参加させず医療機関での受診を勧める等の措置をとる。
- ④ 厚生労働省が開発した新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の登録を推奨する。
- ⑤ 来場者に体温検査実施の協力をいただく。検温の結果、37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りする。また、来場者の個人モバイルを通して、連絡先や観戦場所の入力をお願いし、感染者が出た際の連絡等に使用する。

3. 開会式・閉会式

- ① 感染予防のため選手と保護者の導線を分ける。入場時、選手は一塁側を移動、保護者は三塁側を移動させる。解放するゲートも選手専用と保護者専用に分け、解散時は時間差で移動させる。
- ② 責任教師と主将で受付を行い、速やかに集合写真の撮影を行う。控え選手（選手の荷物等）は一塁側スタンドを利用し、保護者と交わらないように配慮する。

- ③ 開会式への入場者の制限は行わない。ただし、チケット販売所の密を避けるため、「団体販売所」を設置し、チーム関係者はそちらで購入するよう事前案内する。
- ④ 開会式への応援団やチアリーダーの派遣を許容する。ただし、発声を伴わず、あくまで太鼓や旗振り、拍手やダンス等の応援に留める。応援の際、2 m以上の距離を保つ場合はマスクの着用は義務づけない（熱中症予防のため）。
- ⑤ 閉会式も例年通り実施する。

#### 4. 応援・観戦

- ① 各球場の入場制限は設けず、全試合有観客試合とする。ただし、内野席については満席になり次第制限し、外野席に誘導する。
- ② 入場者からは新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の登録することを前提とし、登録していない方はチケットに記載してあるQRコードから、日時と球場、観戦場所の入力をいただくよう協力を求める。提供された個人情報は感染が確認された場合の追跡調査のみに使用し、大会後2週間を保存期間とする。
- ③ 次に該当する方の球場への入場を禁止する。

- (1) 球場入場時、検温の結果 37.5℃以上の発熱が認められた方。
- (2) マスク非着用の方。
- (3) 過去 72 時間（3 日間）以内から現在までに発熱、咽頭痛、呼吸器症状、倦怠感、頭痛、消化器症状、鼻汁、味覚異常等を含む体調不良のある方。
- (4) PCR等検査陽性歴がある者のうち、行動制限の解除がなされていない方。
- (5) 濃厚接触者等として行動制限の解除がなされていない方。

- ④ 入場者は声を出しての応援は自粛し、拍手やメガホンをたたく行為のみとする。ハイタッチや座席の上に立ったり、一カ所に集まる行為、全員がタオルを回す行為がないように事前告知を行う。
- ⑤ チームとして太鼓1個の持ち込みを許容する。応援団、チアリーダーについても入場は可とするが、ソーシャルディスタンスをとることや大声を発しないなど、上記④に準じた応援の体制をとる。
- ⑥ ブラスバンドによる応援は日本高野連が定める「ブラスバンド入場に関するガイドライン」を遵守することを条件に認める。録音された音源を用いて応援することは今大会では認めない。
- ⑦ 学校観戦は学校長の責任の下で認めるが、上限を500人とする。学校生徒は指定された場所においてのみ観戦ができるものとする。学校観戦を希望する場合は、引率責任者を指定し、最低でも2日前までに責任教師を通じて大会本部に連絡を入れることとする。引率責任者は当日の学校応援者名簿を作成（様式自由）し、各学校で2週間保存すること。主催者が必要に応じて提出を求めることもある。また、熱中症には十分留意し、学校毎にその対応をとること。

#### 5. 感染者が発生した場合の対応

- ① 大会前、大会中に大会関係者、チーム関係者から感染者や濃厚接触者が発生した場合は、1の「大会前、大会中に関係者から感染者が発生した場の対応について」を参考に対応する。

- ② 大会関係者、参加校チーム関係者は地方大会を終えた後、14日間以内に新型コロナウイルスに感染した場合、あるいは感染が疑われた場合は速やかに宮城県高等学校野球連盟に書面にて報告する。
- ③ 球場で観戦後、14日以内に一般入場者や学校応援者が感染者となった場合、大会中であれば大会本部、大会後であれば宮城県高野連事務局（仙台工業高校）、朝日新聞社仙台総局まで連絡してもらう。
- ④ ③となった場合、試合会場となる球場とも情報共有し、保健所の指示に従いホームページで感染者発生の情報発信や観戦した観客への連絡等然るべき措置をとる。